

## 関西学院大学博物館平常展始まる 関西学院のあゆみ -大学昇格をめざして・上ヶ原移転物語-

関西学院大学博物館で4月1日(土)から平常展示「大学昇格をめざして・上ヶ原移転物語」が始まります。大正初期に高等学部学生会を中核として活発化した大学昇格運動をはじめ、原田の森キャンパスから上ヶ原キャンパスへの移転にまつわるエピソードなどを展示します。開催中、特集として「渡辺禎雄の版画でみる イエスのはたらき」も陳列されています。



- 期間:4月1日(土)～5月27日(土)  
※休館は日曜と4月29日(土)
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス関西学院大学博物館
- 時間:9時30分～16時30分(入館は16時まで)
- 問い合わせ:大学博物館(0798・54・6054)

※次回展覧会は「日中のかけはしー愛新覚羅溥傑家の軌跡ー」(6月5日～7月22日)の予定です。

## 桜はつぼみ 西宮上ヶ原キャンパス、見ごろはまだ先

関西学院大学では、4月1日(土)・3日(月)に西宮上ヶ原キャンパスで入学式を行います。同キャンパスの桜の開花状況は昨年より遅く、まだつぼみで、一部で3分咲きの状況です。

日本気象協会の予想では、兵庫県の満開予想は4月6日頃。見ごろはもう少し先になりそうです。



写真は3月31日(金)9時現在の西宮上ヶ原キャンパスの桜の様子。

次号 2017年4月7日(金)発行予定

## 最優秀賞に千里高校と秋田南高校 ～SGH甲子園を開催～



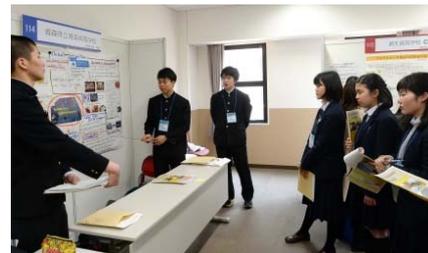
全国のスーパーグローバルハイスクール(SGH)の高校生たちが取り組んだ課題研究の成果を競い合う初の「SGH甲子園」が3月19日、西宮上ヶ原キャンパスで開かれた。全国から参加した84校234チーム、約2000名以上の学校関係者や高校生たちが日ごろの研究成果を共有する日本最大規模の発表会となった。

プレゼンテーション部門では、事前の書類選考で選出された25校が成果を発表。日本語の部では、「ファストファッションブランドの服はなぜ安いのか」をテーマにした大阪府立千里高等学校が、英語の部では、「Potential to solve American's obesity problem or food education for children」を発表した秋田県立秋田南高等学校(写真下)が最優秀賞に選ばれた。審査は大学教員がルーブリック評価を用いて課題解決力、主体性を得点化して行い、決定した。2校は閉会式でエキシビジョン発表もし、堂々とした発表に会場からは大きな拍手が送られた(写真下)。



ポスター発表、ディスカッション部門でも熱心な発表や議論が繰り広げられた。ポスター発表に参加した関西学院千里国際高等部3年生の中山文花さんは「大学教授から助言をもらったり、他の生徒の発表を聞いて交流が深まったりなど貴重な経験ができた。今後の研究に生かしたい」と話す。

全体の講評では、早稲田大学理事の恩臈直人氏は、「身近な体験や関心から問題を発見し、考察・分析を経て、提案するというステップがよくできていた。今後も課題研究のプロセスを大切にしてほしい」とメッセージを送った。



(写真)ポスター発表では様々なテーマのもと発表が行われた